

第4回筑紫野市事務事業外部評価委員会会議録（要点記録）

【開催日時】 令和5年11月24日（金） 8：57～10：40

【開催場所】 市役所403会議室

【委員出席状況】

《出席委員》 坂本委員、中島委員、牧野委員、内川委員
西村委員、二宮委員（名簿記載順） 以上6名

【事務局出席者】 宗貞企画政策部長、中尾企画政策課長、
齊田企画政策担当係長、羽野企画政策担当主事 以上4名

【所管課出席者】 0名

【市民傍聴人】 0名

【職員傍聴人】 0名

【会議概要】

1. 開会

事務局の司会により開会

2. 事務連絡

事務局より説明。連絡事項は以下のとおり。

- ・ 本日のタイムスケジュール
- ・ 追加資料の説明

3. 第3回委員会会議録について

事務局より説明。

委員確認により修正等なし。

4. 議事

（1）評価結果取りまとめ、答申案検討

今年度評価対象の全10事業について、事務局が作成した答申書（案）に基づき、確認がなされた。そのうち、答申書（案）への追加・修正に関する議論は以下のとおり。

① 家庭児童相談事業（子育て支援課）

特になし。

② 利用者支援事業（子育て支援課）

特になし。

③ 乳幼児健診事業（子育て支援課）

特になし。

④ 公用車集中管理事業（管財課）

（委員）福岡県では水素自動車を導入している。自治体が先導して水素自動車などを導入することにより、水素ステーションなどのインフラ整備が進んでいくのではないかと考える。車両価格は高いと思うが、環境に配慮した自動車の導入を推進する必要があると考える。

（副会長）福岡県は公用車として水素自動車を導入しているが、車両価格が高額であったため、リース契約にて導入した経緯がある。

（会長）改善項目⑧「公用車の購入方法について」に今後の公用車の更新方法としてリース契約を検討するよう提言しているが、電気自動車や水素自動車など車両価格が高額となる場合においては、費用対効果を検証し、リース契約か車両購入するか適宜検討するよう、改善項目を修正することとする。

⑤ 市税収納事務事業（収納課）

（委員）eL-QR コード決済の存在を知らない人が多いと考えられるため、周知は必要である。

（会長）eL-QR コードは決済の有無に関わらず、地方税共同機構への負担金は発生するため、eL-QR コード決済の周知を行い、利用促進を図ることは必要だと考える。

（委員）収納率だけを考えれば、不納欠損を行うことで数字は良くなるが、税の公平性の観点から徴収を諦めない姿勢は正しいと考える。

（会長）不納欠損に関することは答申には含めないこととする。

⑥ 全国大会出場補助事業（文化・スポーツ振興課）

（副会長）本事業の支給要件として、大会等に出場した際に県や国から補助を受けている場合は本補助金の支給対象から除外するなどの規定は設けていないようである。

（会長）改善項目②「補助金支給要件の見直しについて」の見直す項目に「（４）国や県からの補助の重複がある場合の対応」を追加することとする。また、見直すべき支給要件として、大会の開催地や国内大会と国際大会に問わず一律に給付していることがあげられるが、より伝わりやすい提言内容となるように「（３）現在一律となっている支給額」に「（大会が国内大会か国際大会であるか、近隣地での開催の場合など）」の詳細な条件を追記することとする。

（会長）ある学校で、全国大会の出場に際して、寄付用 QR コードを団体関係者に送

付し、寄付を募る取り組みを行ったところ、多くの寄付が集まった事例がある。改善項目③「新たな財源確保について」に、多様な手段で広く寄付を受け付けることのできる QR コードを活用した寄付を検討するよう、改善項目に追加することとする。

⑦ 小中学校開放体育施設運営事業（文化・スポーツ振興課）

特になし。

⑧ 人形劇のあるまち推進事業（文化・スポーツ振興課）

（委員）改善項目①「人形劇まつりの会場選定について」にて、小さい子をかかえる保護者にとって利用のしやすい施設選定を行うよう提言しているが、併せて障がい者への配慮も必要であると考える。

（会長）小さい子をかかえる保護者のみではなく、バリアフリーの観点からも障がい者にとっても利用しやすい施設選定となるよう、改善項目を修正することとする。

⑨ 図書・視聴覚資料購入事業（文化・スポーツ振興課）

（会長）除籍される図書資料の活用方法が分かる資料として、筑紫野市民図書館資料廃棄内規をいただいた。内規の中では、除籍後の図書資料について市民等に無償譲渡は行っているが販売は行っておらず、無償譲渡後についても販売を行わないよう規定しているとのことである。

（委員）筑紫野市民図書館での無償譲渡を目にしたことがあるが、ご自由にお取りくださいと案内しているのみで、無償譲渡後の販売を禁止するような案内はなかった。転売の禁止や個人の利用に限るなどを案内に追加すべきではないか。

（会長）改善項目③「除籍する図書資料の活用について」に、無償譲渡後の図書資料は販売を禁止していることなど、無償譲渡後の取扱について周知する旨を追加することとする。

（委員）筑紫野市民図書館の HP 上に電子図書館のバナーが小さくあるのみで、案内や周知が十分ではないのではないかと感じる。また、一般の図書と電子図書の予約状況等を一括で確認できるようになれば、利用者の利便性も向上し、電子図書の利用促進につながるのではないか。

（会長）改善項目⑥として、電子図書の利用促進のため、電子図書館の案内について HP のレイアウトをより分かりやすいものにする、一般の図書と電子図書の資料予約状況等について一括検索ができないか検討することを新たに追加することとする。

⑩ 子ども会リーダースクール事業（生涯学習課）

（委員）今後の子ども会自体の在り方を考えなければ、どのように子ども会を支援していくのか検討できないと感じる。

- (会 長) ある自治体では児童館や学童保育をベースに、放課後の子どもの居場所づくりや学校以外での子どもの育成について支援している。既存の組織をどのように支援していくのかではなく、目的は子どもの学校以外での育成であり、筑紫野市の実情に合った支援方法を検討していく必要がある。
- (委 員) 筑紫野市には児童館はないがコミュニティセンターがあるため、各コミュニティセンターやコミュニティの組織を活用することが最善の方向性ではないか。
- (会 長) 改善項目①「今後の子ども会のあり方について」にて、子ども会に代わる取組を検討する際に、各コミュニティ組織との関連性を踏まえ調査研究を行うよう改善項目を修正することとする。なお、各コミュニティセンターが役割を担うとなった場合は、運営にかかるコストや管理責任の所在や学童保育との枠組みなどを整理する必要がある。
- (委 員) 各コミュニティセンター等で子どもを預かる場合は、学童保育と同様に、一定の費用負担を求めることも検討する必要があると考える。

○今後の課題と改善について（総括）

特になし。

5. 事務連絡

事務局より説明。連絡事項は以下のとおり。

- ・今後のスケジュールについて。
- ・答申書（案）及び第4回委員会会議録について。
- ・会議出席に係る報酬および費用弁償の支払いについて。

6. 閉会

10：40閉会。